

# めぐみイエス・キリスト教会

2021年3月7日(日)第I主日レント礼拝  
週報「通算第547号」



## 2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌209「いつくしみ深き」	p. 316
【交読文】	No.5 詩篇第19篇	p. 882
【賛美Ⅱ】	新聖歌399「この身の生くるは」	p. 638
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル賛美1「ビジョン」	
【聖書朗読】	使徒の働き8章26節～35節(新約p. 249)	
【礼拝説教】	《エチオピアの宦官》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」	p. 236
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

### ●ポイント1. 宦官に対する教えとは？

※申命記23章1節「主の集会における参加規定」(旧約p.248下段)

23:1 辜丸のつぶれた者、陰莖を切り取られた者は、主の集会に加わってはならない。

※マタイの福音書19章10節～12節「主イエスの言葉」(新約p.33下段)

19:10 弟子たちはイエスに言った。「もし夫と妻の関係がそのようなものなら、結婚しないほうがましです。」

19:11 しかし、イエスは言われた。「その言葉は、誰もが受け入れられるわけではありません。ただ、それが許されている人だけができるのです。

19:12 母の胎から独身者として生まれた人たちがいます。また、人から独身者にさせられた人たちもいます。また、天の御国のために、自分から独身者になった人たちもいます。それを受け入れることができる人は、受け入れなさい。」

### ●ポイント2. エチオピアの宦官が読んでいた箇所とは？

#### ※イザヤ書53章7節～8節「悲しみのメシヤ預言」(旧約p.1259上段)

53:7 彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが、口を開かない。屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。

53:8 虐げとさばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことか。彼が私の民の背きのゆえに打たれ、生ける者の地から絶たれたのだと。

### ●ポイント3. なぜピリポが遣わされたのか？

#### ※エレミヤ書33章3節「エレミヤへの主の言葉から」(旧約p.1355下段)

33:3 『私を呼べ。そうすれば、私はあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう。』

#### ※エレミヤ書29章12節～14節「呼びかけ祈るなら」(旧約p.1344下段)

29:12 あなたがたが私に呼びかけ、来て、私に祈るなら、私はあなたがたに耳を傾ける。

29:13 あなたがたが私を捜し求めるとき、心を尽くして私を求めらば、私を見つける。

29:14 私はあなたがたに見出される。

## ◎先週のメッセージの概要【魔術師シモンとシモン・ペテロ】

《エルサレム教会は、シモン・ペテロとヨハネをサマリアに派遣しました。執事ピリポは、サマリアの人々に、主の御名によるバプテスマを授けましたが、聖霊はまだ誰にも降ってはいませんでした。それゆえペテロとヨハネが、一人一人に手を置いて祈りますと御霊が降って来られました。

さて、魔術師シモンもその場におりました。彼は主イエスを信じましたが、ペテロとヨハネの所に、お金を持って来てこう言ったのです。「私が手を置く者が誰でも聖霊を受けられるように、その権威を私にも下さい」と。これこそが、魔術師シモンの失敗なのです。彼は、「聖霊」に対して全く無知であり、聖霊を「力」であるかのように感じたのかも知れません。神様が与えて下さる賜物をお金で買うことはできません。ここから、教会の地位や権威をお金で売買することを「シモニア」と言うのです。

「おまえの金は、おまえと共に滅びるがよい。おまえが金で神の賜物を手に入れようと思っているからだ。おまえの心が神の前に正しくないからだ。だから、この悪事を悔い改めて、主に祈れ。もしかしたら、心に抱いた思いが赦されるかもしれない。」と、シモン・ペテロは彼に言いました。

この言葉に、ペテロの過去における失敗の経験が生かされていることが分かります。かつて使徒ペテロも大失敗をしたのです。それが「アナニアとサツピラ」の事件なのです。確かに彼らは聖霊に対して罪を犯しましたが、ペテロは、二人に悔い改めを促さず、また取りなしの祈りもせずに、ただ厳しく裁いただけでした。しかし、魔術師シモンに対しては、まったく異なった態度を示したのです。また「あなたがたが言ったことが何一つ私の身に起こらないように、私の為に主に祈って下さい」と、シモンは願い出ますが、ペテロとヨハネは、彼の為に、取りなしの祈りを捧げたことは間違いありません。アナニアとサツピラの時にも、ペテロが同じように接していたとしたら、全く異なった展開になったはずです。誰でも失敗するものです。しかし、私たちの主イエスは、真に愛のお方であるのです。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は2021年3月14日(日)教会において行ないます。聖書勉強会と祈り会は、3月10日(水)各家庭において行ないます。